令和8年産

品種：夢つくし・元気つくし ヒノヒカリ

特栽米ごよみ(県認証米･F基準)

特栽米の条件

※こよみに記載している肥料・農薬以外は使用できません。
※こよみ以外の肥料・農薬を使用した場合は必ず報告して下さい。(県認証より除外します。)

平坦地

月	5			6			7			8			9			10		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下

夢つくし

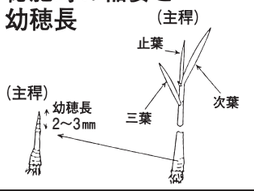
生育期間	は種	育　苗	田植	活着期	有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期	出穂期	穂揃期	登熟期間	成熟期
水管理			浅　水		間断灌水	中干し	間断灌水	浅　水		間断灌水	落　水

主な作業：温湯消毒／代かき 基肥の施用／箱施薬①（田植 6/5～6/15）／除草剤処理②／穂肥／紋枯病対策（補正防除）／穂いもち病 防除時期③／ウンカ・カメムシ防除④（状況に応じて2回散布）／収穫

※田植後30日目頃から中干しを開始し、田面がやや硬くて黒く、小さな亀裂が入る程度を目安として実施する。
田面が白く、大きな亀裂が入るような強い中干しはおこなわないよう注意する。

穂肥の診断

穂肥時の稲姿と幼穂長



・穂肥は葉色をみて量を加減する。
・穂肥は出穂前（幼穂長2～3㎜）頃使用する。

元気つくし

生育期間	は種	育　苗	田植	活着期	有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期	出穂期	穂揃期	登熟期間	成熟期
水管理			浅　水		間断灌水	中干し	間断灌水	浅　水		間断灌水	落　水

主な作業：温湯消毒／代かき 基肥の施用／箱施薬①（田植 6/10～6/20）／除草剤処理②／穂肥／紋枯病対策（補正防除）／穂いもち病 防除時期③／ウンカ・カメムシ防除④（状況に応じて2回散布）／収穫

※田植後30日目頃から中干しを開始し、田面がやや硬くて黒く、小さな亀裂が入る程度を目安として実施する。
田面が白く、大きな亀裂が入るような強い中干しはおこなわないよう注意する。

収穫適期
(黄褐色籾 70～80%)



収穫早限
黄褐色籾比率70%
籾水分28%
収穫晩限
黄褐色籾比率80%
籾水分24%

適期収穫に努めましょう。

ヒノヒカリ

生育期間	は種	育　苗	田植	活着期	有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期	出穂期	穂揃期	登熟期間	成熟期
水管理			浅　水		間断灌水	中干し	間断灌水	浅　水		間断灌水	落　水

主な作業：温湯消毒／代かき 基肥の施用／箱施薬①（田植 6/10～6/20）／除草剤処理②／穂肥／紋枯病対策（補正防除）／穂いもち病 防除時期③／ウンカ・カメムシ防除④（状況に応じて2回散布）／収穫

※田植後35日目頃から中干しを開始し、田面がやや硬くて黒く、小さな亀裂が入る程度を目安として実施する。
田面が白く、大きな亀裂が入るような強い中干しはおこなわないよう注意する。

主な雑草及び害虫


コナギ


ホタルイ


アゼナ


ヒメトビウンカ


セジロウンカ


トビイロウンカ


イネカメムシ

イネカメムシ対策

イネカメムシは出穂後の幼い籾の基部を吸汁することから不稔籾発生の要因となります。対策として出穂期防除（1回目）、出穂期から10～14日後の防除（2回目）が効果的です。

○箱施薬-①　次のいずれか1つを選択

名　称	使用量	使用時期	対象病害虫
ブーンクロノス箱粒剤	1箱あたり 50g	播種時（覆土前）～移植当日	いもち病、ウンカ類、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ幼虫、イネドロオイムシ、コブノメイガ、ツマグロヨコバイ
ブーンハーデス箱粒剤 ※紋枯病に効果あり			いもち病、ウンカ類、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ幼虫、イネドロオイムシ、コブノメイガ、ツマグロヨコバイ、紋枯病

※育苗センターの苗（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリ）は箱施薬（ブーンクロノス箱粒剤）入りです。田植前に箱施薬を散布する必要はありません。

○除草剤使用基準-②　次のいずれか1つを散布

種　類	名　称	10a当たり使用量	使 用 時 期
粒　剤（※田植同時処理可）	ガツントZ1キロ粒剤	1kg	田植時～12日（ノビエ3.5葉期まで）
	プライオリティ1キロ粒剤		田植時～12日（ノビエ3.5葉期まで）
	オイカゼZ1キロ粒剤		田植時～10日（ノビエ3.0葉期まで）
フロアブル（※田植同時処理不可）	ガツントZフロアブル	500㎖	田植後3日～12日（ノビエ3.5葉期まで）
	オイカゼZフロアブル		田植後5日～10日（ノビエ3.0葉期まで）
ジャンボ	ガツントZジャンボ	10ﾊﾟｯｸ	田植後3日～12日（ノビエ3.5葉期まで）
	プライオリティジャンボ		田植直後～12日（ノビエ3.5葉期まで）
	オイカゼZジャンボ		田植後5日～10日（ノビエ3.0葉期まで）
楽　粒	ワザアリ楽粒	250g	田植直後～10日（ノビエ3.0葉期まで）

※除草剤処理後1週間は田面が露出しないようにすると効果が安定する。

○穂いもち病防除-③　次のいずれか1つを散布

	名　称	10a当たり使用量	使用時期
いもち病 紋枯病対策	ダブルカットバリダフロアブル	希釈倍率1000倍 散布液量60～200ℓ	穂揃期まで
いもち病 対策	ビームゾル	希釈倍率1000倍 散布液量100～150ℓ	収穫7日前まで
	ゴウケツ1キロ粒剤	1kg	出穂5日前まで（収穫30日前まで）
	ゴウケツパック	10パック	

※穂いもち病防除時期：「ゴウケツは、穂ばらみ期（出穂５日前）まで」「液剤は出穂直前」に散布する事が重要です。

○ウンカ・カメムシ防除-④　次のいずれか1つを散布。但し、条件を満たしている場合のみ、2つまで散布可

名　称	10a当たり使用量	使用時期	対象病害虫
エクシード粉剤DL	3kg	収穫7日前まで	カメムシ類 ウンカ類
エクシードフロアブル	希釈倍率2000倍 散布液量60～150ℓ		
スタークル豆つぶ	250ｇ		
航空機防除（エクシードフロアブル）	希釈倍率16倍 散布液量0.8ℓ		

○補正除草剤・防除　必要に応じて次のいずれか1～2つまで散布可

箱施薬でブーンハーデスを使用しウンカ･カメムシ対策を2回散布する予定の場合はクリンチャーバスとワイドショットは使用できません。

	名　称	10a当たり使用量	対象雑草	使用時期
雑草が残った場合	※クリンチャーバスME液剤	1000㎖/水70～100ℓ	ノビエ、広葉雑草 カヤツリグサ、ホタルイ	田植後15日～ノビエ5葉期但し収穫50日前まで
	※ワイドショット1キロ粒剤	1kg		田植後15日～ノビエ4葉期但し収穫45日前まで
	クリンチャーEW	100㎖/水25～100ℓ	ノビエ	田植後20日～ノビエ6葉期但し収穫30日前まで
	クリンチャー1キロ粒剤	1kg		田植後7日～ノビエ4葉期但し収穫30日前まで
	バサグラン液剤（ナトリウム塩）	500～700㎖/水70～100ℓ	広葉雑草、カヤツリグサ ホタルイ	田植後15日～収穫45日前まで
	バサグラン粒剤（ナトリウム塩）	3～4kg		田植後15日～収穫45日前まで

	名　称	10a当たり使用量	使用時期	
紋枯病対策	リンバー粒剤	3～4kg	収穫30日前まで	
	モンセレンフロアブル	希釈倍率1500倍 散布液量100～150ℓ	収穫21日前まで	
ウンカ類対策	トレボン粉剤DL	3～4kg	収穫７日前まで	使用時期は発生に応じて散布（稲作情報参考）
	トレボン乳剤	希釈倍率1000～2000倍 散布液量60～150ℓ	収穫14日前まで	
葉いもち	穂いもち病対策の剤（ゴウケツ、ビーム）を使用			

○施肥基準

(kg／10a)

品種名	肥料名	基肥	穂肥	成分量 N	成分量 P	成分量 K	比重
夢つくし 元気つくし ヒノヒカリ	福岡嘉穂ユーキくん2号	35	―	7.0 (6.5)	2.65 (2.4)	4.15 (4.4)	0.7～0.8
	（フレーバーペースト）	(50)	―				―
	福岡嘉穂ユーキくん3号	―	30				0.7～0.8
	有機エムコート355 (基肥1回) ※軽量化肥料	55 (1回のみ)	―	7.15	2.75	2.75	0.7～0.8

稲わらの全量還元・土壌改良資材の施用
10a当たり ケイカル（160kg）、ミネラルG（100kg）、珪鉄（200kg）、オイスターミネラル（60kg）、シリカサポート1号（40kg）のいずれかを散布。

〔スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策〕

(使用しても化学合成農薬成分にカウントされません。)

名　称	10a当たり使用量	使用方法	備　考
スクミンベイト３	2～4kg	湛水散布	浅水にして、水口、深いところ等タニシの集まる所にスポット処理も有効

その他対策：生貝の捕殺、卵塊の圧殺、取水口への網設置、浅水管理、厳冬期の耕起等

肥料・農薬の注文は予約購入で経済効果を上げましょう。
農薬は、散布前に必ず農薬ラベルを確認し、散布時には、天候に注意し、他の作物にかからないように散布しましょう。
この栽培暦はＪＡ米の生産基準を兼ねています。
要件を満たさない米穀は区分してＪＡに出荷しましょう。

ＪＡふくおか嘉穂本所グリーンセンター　☎24-4200　　ＪＡふくおか嘉穂本所営農センター　☎24-7093
ＪＡふくおか嘉穂南部グリーンセンター　☎57-3915　　飯塚普及指導センター　☎23-4154

令和7年11月作成

肥料・農薬・生産資材の購入はＪＡから!!
生産履歴は必ず記帳しましょう。